

I 意識面の対策

1. 河川法令等遵守意識に関する社員教育

水利使用に係る業務に携わる関係者に河川法令等を正しく理解させることを目的に、下記の教育を継続的に実施しました。なお、関係者の習熟状況を踏まえ、適宜教育内容を充実させました。

- ① 河川法令等の内容に関する教育
- ② 水利使用規則、社内規程類に関する教育
- ③ 異常時対応等に関するロールプレイング訓練
- ④ 技術者倫理教育
- ⑤ 不適切事象に関する振り返り教育

2. 固定化された人事運用の見直し

これまでの固定化された人事運用を見直し、他部門との人事交流を行っております。

- ① 管理職社員に他の部門経験者を配置 (4名)
 - ② 河川法に係る業務を扱う担当助役の定期的異動の実施 (3名)
 - ③ 共通業務担当社員の他部門からの配置 (1名)
- などの人事異動を行いました。

II 仕組み・制度の改善

3. コンプライアンス体制の強化

<全社的な取り組み>

コンプライアンスの重要性を全社員に徹底する取り組みを継続的に実施するとともに、社内全部門に渡って法令遵守状況の総点検を実施しました。

- ① 研修体制の充実・強化 (コンプライアンス全社員教育の実施)
- ② コンプライアンスセミナー等の実施
- ③ 基礎的事項の確認支援シートの活用
- ④ 「他山の石」の活用 (予防的危機管理)
- ⑤ コンプライアンスに関する意識調査の実施

<発電部門の取り組み>

「発電部門のコンプライアンス上の問題を、会社として適時適正に把握する仕組み」と、「発電部門の業務執行について、社内外の視点で定期的に監査を行う体制」を構築しました。また、水力発電のコンプライアンスに係る情報収集強化を図りました。

- ⑥ 内部・自主業務監査による監査体制強化
 - ⑦ 信濃川発電所運転に関する業務監査の実施
 - ⑧ 水力・火力発電所相互業務監査の実施
 - ⑨ 水力発電のコンプライアンスに係る情報収集強化
- ダム管理主任技術者研修、他社との連絡会の実施、大口自家発電施設者懇話会への出席

4. 水力発電業務に関する部外有識者からの指導・助言

水力発電業務の法令遵守状況に係る監査、具体的な再発防止策の実施状況の確認、対策の見直し・改善および継続的取組みを推進するため、部外有識者から指導・助言を得ました。

5. 発電所等における業務改善・強化プロジェクトの設置

社内に常務取締役鉄道事業本部長を主査とし、関係する常務取締役・部門長を委員として設置したプロジェクトの中で、具体的な再発防止策の実施状況の確認・効果の検証等を実施し、発電所の業務改善を着実に推進しました(2回開催)。

III 仕組み・制度の改善(続き)

6. 社内の体制強化

河川法や電気事業法等の法令を遵守した適切な業務執行を図るため、引き続き2014年度の体制を継続しております。

7-1. 発電所の水利使用に関する規程体系の見直し

水利使用許可の更新許可における水利使用規則の改正並びに試験放流終了に伴い、信濃川発電所変動放流対応マニュアル(5年目)を廃止し、引き続きダム放流量を適正に管理するため、新たに信濃川発電所ダム放流管理マニュアルを制定しました。

このほかにも、実運用に即した見直し等のため、水利使用に関する社内規程等の制定・改定を実施しました。

7-2. 総合制御所システム改修

適正な取水・放流を行うためのシステム改修を検討しました。

- ① 流入量予測システムの導入検討

8. ISO9001の管理、維持及び継続的改善

信濃川発電所における水利使用に係る業務の厳正と透明性向上のために認証登録したISO9001の管理、維持及び継続的改善を行いました。

(内部品質監査2回、定期審査を行い、内規改定、帳票類見直しなどの改善を実施)

III 透明性の高い職場風土の醸成

9-1. 河川管理者への事前相談の実施

河川法令に基づく工作物の許可申請の要否等について、工事実施部署が単独で申請要否を判断することがないように、組織横断的に確認した後、河川管理者へ事前相談を実施しました。(事前相談件数108件)

9-2. 工事変更許可申請手続きにおける不備等再発防止策の実施状況

河川管理者への申請前の必要図面の確認、工事施工段階・施工結果との照合及び施工会社に対し許可内容と構造物の整合性について確認するよう指導等を実施しました。

10. 地域自治体等との連携

透明性の高い職場風土を構築するために、地域自治体との連携を継続すると共に、地域と共生するための地域貢献を実施しました。

- ① 小千谷発電所一般公開
 - ② 千手発電所の一般公開
 - ③ 宮中取水ダム魚道見学イベント
- このほかにも、地域と共生するための地域貢献を、積極的に実施しました。

11. 本社等における現場との意見交換

- ① 本社、エネルギー管理センターと、信濃川発電所との意見交換会を実施しました。
- ② 経営層から、メッセージを伝え、現場把握を実施しました。